

IX 学校の財務状況

令和元年度事業報告書

1 教育関係

岡山県をはじめ、中国四国における酪農業の健全な発展を図るため、企業的酪農経営に関する知識を授けるとともに、21世紀の酪農経営を担う人材養成を旨とした教育方針に基づき、下記のとおり実践教育を実施した。

(1) 教育実績

- ・講義及び実習実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙1）
- ・第54期生及び第55期生就学状況・・・・・・・・・・・・（別紙2）
- ・第54期生卒業生名簿及び第55期生学生名簿・・・・・・・・（別紙3）
- ・令和2年度第56期生入学許可者数及び入学者名簿・・・・・・・・（別紙4）
- ・出身県別卒業生及び在校生数・・・・・・・・・・・・（別紙5）
- ・校外実務研修（平成31年4月1日～令和元年11月23日）研修農家数：38農場
- ・酪農関係各種施設等の見学

(2) 専門教育・講習会・酪農フィールド研修等

- ・家畜人工授精講習会：令和元年11月25日～12月24日（学生24名）
- ・受精卵移植技術講習会
 - 体内：令和2年1月7日～1月31日（学生14名）
- ・牛削蹄師講習会：令和元年11月26、27日（学生4名）
- ・家畜商講習会：令和2年2月6、7日（学生16名）
- ・酪農ヘルパー専門技術員養成研修会
 - 初任者研修：令和元年11月11日～22日（学生3名）
 - 〃 神戸酪農ヘルパー組合（2名）
 - 〃 兵庫県酪農ヘルパー利用組合（1名）
- ・フォークリフト技能講習：令和元年10月3、9～11日（学生19名）
- ・車両系建設機械等技能講習：令和2年3月9～13日（学生23名）
- ・酪農フィールド研修
 - 平成31年4月12日～令和元年5月24日 全国酪農業協同組合連合会（16名）
 - 令和元年11月11日～22日 JA西日本組合飼料中国支店（1名）
 - 令和2年2月17日～28日 全国農業協同組合連合会（2名）
 - 〃 JA西日本組合飼料中国支店（1名）
 - 〃 広島県酪農業協同組合（1名）

資格取得状況

資格の種類	受講者数	合格者数	合格率	備考
家畜人工授精師講習会	27人	24人	89%	合格証
家畜体内受精卵移植講習会	16人	14人	88%	合格証
2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験	4人	4人	100%	合格証
酪農ヘルパー専門技術員養成研修会	3人	3人	100%	修了証
家畜商講習会	16人	16人	100%	修了証
フォークリフト運転技能講習	19人	19人	100%	修了証
車両系建設機械（整地等）技能講習	23人	23人	100%	修了証
大型特殊自動車運転免許（農耕限定）	1人	1人	100%	免許証
〃（限定解除）	15人	15人	100%	免許証

牽引自動車運転免許 (農耕限定)	19人	18人	95%	免許証
〃 (限定解除)	4人	4人	100%	免許証

※ 本校の学生のみ記載

(3) 農場HACCP

「農場HACCP」について、平成29年1月に附属第2牧場が岡山県内で初めて、かつ、教育機関として全国で初めて農場HACCP認証農場として認証され、令和2年1月に更新認証された。附属第1牧場においても平成30年6月に農場HACCP認証を取得した。農場HACCPの手法に基づいて、消費者の求める安全で高品質な生乳を継続的に生産し、学生等が生産段階における食品の安全確保に係る方法や法令等を学ぶ教育施設としてレベルアップを図っていく。

(4) 学校評価

学校教育法及び同施行規則の改正により、専修学校においても学校評価制度に関する規定が設けられたことから、本校でも、教育の質の改善等を目的に取組を進めた。

- ① 中期運営計画を踏まえた、学校の重点目標の設定
学生の確保（50名以上）、酪農への就業率の確保（100%）
- ② 学生・卒業生によるアンケートの実施（54、55期生 回収：43人）
- ③ アンケート結果を踏まえた具体の目標設定
・教育カリキュラムや学生支援の充実及び運営体制の強化等
- ④ 職員研修の実施
- ⑤ 職員の自己評価の実施（13人）
- ⑥ 令和元年度自己評価を受けた学校関係者評価の実施準備
- ⑦ ホームページでの情報公開に向けた準備

(5) その他

- ・酪農に対する一般消費者の理解を深めるため、学校児童・生徒等に対する搾乳体験、牧場見学等を実施した。（676名）
- ・畜産共進会への出品を通じ、牛の見方、審査の知識、リード技術、牛の管理（牛洗い、ブラッシング、毛刈り、削蹄、調教）等の実務に取り組んだ。
 - 中国地区B&W(4/7) : ホルスタイン4頭出品
 - 蒜山高原ジャージースプリング(4/20) : ジャージー 4頭出品
 - 蒜山地区乳牛共進会(9/5) : ホルスタイン5頭、ジャージー4頭出品
 - おからく津山支所乳牛共進会(9/20) : ホルスタイン5頭出品
 - 岡山県畜産共進会(10/13) : ホルスタイン5頭、ジャージー4頭出品
- ・各種発表会、コンクール等への参加
 - 中国ブロック農業大学校等意見発表会(R2.1.21 山口)
55期生 岩永夏委 「酪農後継者に向けて」

・就学資金の確保支援

① 農業次世代人材投資事業（準備型）

※ 全国型教育機関として全国農業会議所から承認。

54期生(卒業)	55期生(2年)	合 計
13名	15名	28名

② 奨学金

※ 専修学校化により、受給可能

54期生(卒業)	55期生(2年)	合 計
7名	4名	11名

2 生産関係

令和元年10月30日付けで岡山県真庭市から農業経営改善計画の認定を受け、認定農業者を取得した。

附属第1牧場（ホルスタイン種）及び附属第2牧場（ジャージー種）で牛乳の生産実習を行うとともに農協へ売払委託を行った。

・生乳生産量（売払金額）・・1,158t（157,014千円）

第1牧場：533t（67,927千円）

第2牧場：625t（89,087千円）

3 決算関係

正味財産増減計算書で、正味財産期末残高は323,755,621円となった。

4 令和元年度事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。